

平成30年度 環境保全活動実施報告【北海道地区】

(1)実施日	平成30年 6月23日(土)
(2)実施場所	ウトナイ湖 (北海道苫小牧市)
(3)参加者	32名 (31名 (会員会社12社) +事務局1名)
(4)協力	(公財) 日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリ
(5)活動内容	<p>オリエンテーションの後、オオアワダチソウの抜取り作業を行う(6,870本)。6年連続の活動の成果が出ており、オオアワダチソウの数の減少や草丈の矮小化が確認される。終了後、ウトナイ湖畔周辺の自然観察を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オオアワダチソウ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駆除作業の様子①</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>駆除作業の様子②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駆除したオオアワダチソウと</p> </div> </div> <p>【オオアワダチソウの特徴】北米原産の多年草で明治時代以降に移入されたものが北日本に多く分布している。根茎から周囲の植物を弱らせる物質を出す他、1年間で高さ2.5mという生長力の速さで、在来植物を圧倒して大群落を作る。生命力、繁殖力が強いいため継続しないと駆除活動は意味がない</p> <p>①H25年11会員30名(8,830本) ②H26年10会員28名(6,129本) ③H27年10会員32名(16,450本) ④H28年13会員33名(0本) ⑤H29年10会員30名(8,663本) ※H28年は雨の為、駆除作業中止 *5年間合計:56会員153名(40,072本) H30年12会員31名(6,870本)</p>
(6)スケジュール	<p>08:30 札幌駅北口 出発 09:55~10:20 オリエンテーション オオアワダチソウの性質・分布状況など 10:20~11:00 オオアワダチソウ駆除活動 抜取り作業、本数確認、片付け、記念写真 11:00~11:35 野外生物ガイドウォーク(ウトナイ湖周辺) レンジャーの案内にて周辺自然観察 11:35~12:00 全体のまとめと参加者の感想発表(バス移動) 13:00~15:00 しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚(昼食休憩) 16:30 札幌駅北口到着・解散</p>
(7)参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・抜取りの本数が少なく、丈の小さいものも多かったが、これも継続の成果だと聞いて毎年の実施が必要と実感した。 ・外来植物の持ちは人だということなので、今後注意していきたい。 ・毎年同じ区画の駆除を継続することで、明らかに成果が現れており、環境保全活動にもっと積極的に参加するように啓蒙したい。 ・次回から駆除の区画を広げ、時間も長く取れば、更に環境保全活動に貢献できるのではないかな。
(8)その他情報	ウトナイ湖は日本野鳥の会が1981年に日本最初のサンクチュアリとして開設。1991年には、ウトナイ湖を含む周辺の湿地510haが国内4番目となるラムサール条約の登録湿地に認定。